

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2019-54923 (P2019-54923A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2017-179902 (P2017-179902)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 21 日 (2020.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機において、

遊技を進行させるための遊技進行信号が検出されているか否かを判定する検出判定手段と、

特定エラーが発生しているか否かを判定する特定エラー判定手段と、

特定エラーが発生していると判定されたときに遊技の進行を不能化する不能化状態に制御する不能化状態制御手段と、

を備え、

前記特定エラーは、物理的に解消させる必要のある特定事象が生じたことにより発生するエラーであり、

前記不能化状態制御手段による不能化状態は、前記特定事象が解消されていなくても解除条件が成立したときに解除され、

前記特定エラー判定手段は、前記不能化状態制御手段による不能化状態が解除された後、前記検出判定手段により最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かを判定する、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、

遊技を行う遊技機（スロットマシン 1）において、

遊技を進行させるための遊技進行信号（メダル投入信号、MAX BET スイッチ 6 の検出信号）が検出されているか否かを判定する検出判定手段（メダル投入信号処理、操作入力受付処理）と、

特定エラー（払出期間外で払出センサ 34c がメダル等を検出する異常）が発生しているか否かを判定する特定エラー判定手段（メダル投入払出エラーチェック処理）と、

特定エラーが発生していると判定されたときに遊技の進行を不能化する不能化状態（エ

ラー状態)に制御する不能化状態制御手段(エラー処理)と、
を備え、

前記特定エラーは、物理的に解消させる必要のある特定事象が生じたことにより発生するエラーであり、

前記不能化状態制御手段による不能化状態は、前記特定事象が解消されていなくても解除条件が成立したときに解除され、

前記特定エラー判定手段(メダル投入払出エラーチェック処理)は、前記不能化状態制御手段による不能化状態(エラー状態)が解除された後、前記検出判定手段(メダル投入信号処理、操作入力受付処理)により最初に遊技進行信号(メダル投入信号、MAX BETスイッチ6の検出信号)が検出されているか否かが判定される前に、特定エラー(払出期間外で払出センサ34cがメダル等を検出する異常)が発生しているか否かを判定することを特徴としている。

この特徴によれば、特定エラーの発生に伴い不能化状態に制御されており、特定エラーの原因が解消しないまま不能化状態が解除された場合に、特定エラーが解消されていない場合でも遊技が進行可能となるが、このような場合でも、不能化状態が解除された後、最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かが判定され、特定エラーが発生していると判定された場合には、遊技進行信号が検出されて遊技が進行する前に再び不能化状態に制御されることとなり、特定エラーの原因が解消していないにも関わらず遊技が進行してしまうことがなく、エラーが確実に解消した状態で遊技を進行させることができる。